

～夜の活動～

キャンドルの集い

福岡市海の中道青少年海の家
2023年11月22日改訂

1.活動概要

神聖な雰囲気の中で火を見つめ、仲間と歌や出し物・ゲームなどを行い、友情を深めます。

楽しい思い出を作るとともに研修のまとめを行う活動です。



燭台↓



2.めあて

【人とのつながり】

○(親睦・交流)

・火を囲み、仲間と過ごすことを通して交流(親睦)を深める。

3.準備

【1】準備物

海の家 : 燭台(燭台の大きさや本数は、別紙参照)、マイク、延長コード、アンプ、衣装、手燭、清掃道具

団体 : 救急用品、ろうソク(火の神様用・研修生用・燭台用など)※サイズは、別紙参照、アルミホイル(ろうソクの受け皿に使用)、マッチ(チャッカマン)、衣装、出し物に必要なもの

◇受け皿の作り方

■アルミホイルで作る

① アルミホイルを適当な大きさにカットする。

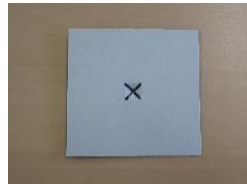


② アルミホイルの中心にろうソクをのせ、ろうソクの3分の1程度を包み、残りのアルミホイルで受け皿を作る。
※ろうソクを持った時に、蠟が垂れない広さに整える。



■厚紙で作る ※使いまわし可能

① 厚紙を正方形にカットし、中心にXの切り込みを入れる。
※一辺8cm～10cmの正方形



② 厚紙をアルミホイルで覆い、真ん中にろうソクを差し込む。



【2】引率者の役割

- 準備指導
- 活動の進行や補助(照明の操作)
- 安全管理
- 道具などの管理
- 片付けの指導

【3】班編成

レクリエーションの内容や出し物によっては必要。

4.実施上の留意点

- 施設の貸出物品は、数に限りがあるため、他団体と譲り合って決める。
- 火の取り扱いに気を付け、安全管理をする。
- 火の受け渡しは、火がついていないろうソクを傾けて受け取る。
※火が付いているろうソクを傾けると蠟が垂れる。
- 全員がろうソクを持つ場合は、事前に配付と回収をするタイミングや方法などを決めておく。
- 火の神様役に、入場や点火のタイミングを伝えておく。
- 研修室、多目的室を使用する場合は、準備・片付けで机と椅子を移動させる時間が必要になる。

5.活動のながれ

◎…引率者の動き ○…研修生の動き ▼…施設職員の動き PH…プレイホール

| 目安時間 | 活動内容 | 留意点 |
|---------------------|--|--|
| 準備 (30分) | ▼燭台を出す。 ◎準備をさせる。 ○準備をする。 | ●研修室と多目的室は、机と椅子を移動させる。 ●PHで行う場合は、施設職員と照明の打ち合わせを行う。 ●音響の確認やリハーサルを行う。 |
| 移動 (10分) | ◎準備ができたなら入場させる。 ○入場する。 | ●雰囲気を作るため、静かに入場させる。 |
| 活動 (60分～ 90分) | ○司会進行をする。 ◎司会進行補助・安全管理・照明の調整を行う。 ◇キャンドルの集いのながれ ① 迎え火のつどい ・火の神様が入場し、代表の研修生に分火する。 ・真ん中の燭台に火を灯す。 ※ ◎燭台を移動させ、火を消す。 ② 交歓のつどい ・歌やダンス、出し物を楽しむ。 ※ ◎火を灯し、燭台を移動させる。 ③ 送り火のつどい ・火の神様が退場する。 | ●研修生にロウソクを持たせる場合は、事前に配付と回収をするタイミングや方法を決めておく。 ●入場のタイミングを、火の神様役と事前に打ち合わせしておく。 ●火がついていないロウソクを傾けて火を受け取る。 ●燭台の火を消したり、灯したりするのは、研修生に見えないところで行う。 ●燭台の移動は、引率者が行う。 |
| 移動 (10分) | ◎移動させる。 ○移動する。 | ●片付けがあるため、系の研修生は残しておく。 |
| 片付け (15分) | ◎片付けをさせ、道具を返却させる。 ○片付けをし、道具を返却する。 ▼道具を受け取る。 | ●床に落ちている蠟や、ゴミを掃除する。 ●施設の貸し出し物品がある場合は、数を確認する。 ※道具は事務室に返却する。 ●研修室と多目的室は、机のストッパーを元に戻し、椅子を移動させる。 |

- a. 対象学年 : 小学生以上 ※未就学児は要相談
b. 定員 : なし
c. 関連教科 : 保健体育科、音楽科、総合的な学習の時間
d. 実施可能時期 : 通年
e. 実施可能な天候 : 全天候
f. 所要時間 : 1時間30分～2時間程度(準備30分、片付け15分を除く)
g. 実施場所 : 活動部屋

